

Ⅲ みずほ台キャンパス

1 年間の諸行事・諸活動

2005(平成17年)度 学年暦 国際コミュニケーション学部 [前学期]

4月		5月		6月		7月		8月		9月		
1	金	1	日	1	水	1	金	1	月	集中講義	1	木
2	土	2	月	2	木	2	土	2	火		2	金
3	日	3	火	3	金	3	日	3	水	↓	3	土
4	月	4	水	4	土	4	月	4	木	追試験	4	日
5	火	5	木	5	日	5	火	5	金	↓	5	月
6	水	6	金	6	月	6	水	6	土		6	火
7	木	7	土	7	火	7	木	7	日		7	水
8	金	8	日	8	水	8	金	8	月	定期試験時間割発表	8	木
9	土	9	月	9	木	9	土	9	火	第2回オープンキャンパス	9	金
10	日	10	火	10	金	10	日	10	水	降誕会(午後休講)	10	土
11	月	11	水	11	土	11	月	11	木	授業開始	11	日
12	火	12	木	12	日	12	火	12	金		12	月
13	水	13	金	13	月	13	水	13	土		13	火
14	木	14	土	14	火	14	木	14	日	スポーツ大会	14	水
15	金	15	日	15	水	15	金	15	月		15	木
16	土	16	月	16	木	16	土	16	火		16	金
17	日	17	火	17	金	17	日	17	水		17	土
18	月	18	水	18	土	18	月	18	木	履修登録締め切り	18	日
19	火	19	木	19	日	19	火	19	金	祝日(海の日)	19	月
20	水	20	金	20	月	20	水	20	土	前期授業終了	20	火
21	木	21	土	21	火	21	木	21	日	補講	21	水
22	金	22	日	22	水	22	金	22	月		22	木
23	土	23	月	23	木	23	土	23	火	創立記念日(平常授業)	23	金
24	日	24	火	24	金	24	日	24	水		24	土
25	月	25	水	25	土	25	月	25	木	第1回オープンキャンパス	25	日
26	火	26	木	26	日	26	火	26	金	定期試験	26	月
27	水	27	金	27	月	27	水	27	土	成績発表(送付)	27	火
28	木	28	土	28	火	28	木	28	日	履修登録変更期間	28	水
29	金	29	日	29	水	29	金	29	月	第4回オープンキャンパス	29	木
30	土	30	月	30	木	30	土	30	火	祝日(みどりの日)	30	金
31	日	31	火	31	金	31	日	31	水	第3回オープンキャンパス	31	土

2005(平成17年)度 学年暦 国際コミュニケーション学部〔後学期〕

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1	土	編入試験	1	火		1	木		1	水	
2	日		2	水		2	金		2	木	追試験日程発表
3	月		3	木	祝日(文化の日)	3	土		3	金	
4	火		4	金		4	日		4	土	一般入試(A方式)
5	水		5	土		5	月		5	日	特別入試
6	木		6	日		6	火	成道会(午前休講)	6	月	
7	金		7	月		7	水		7	火	追試験
8	土		8	火		8	木		8	水	
9	日		9	水		9	金		9	木	成績発表(送付)1~3年
10	月	祝日(体育の日)	10	木		10	土		10	金	
11	火		11	金		11	日	推薦入試	11	土	祝日(建国記念の日)
12	水		12	土		12	月		12	日	スプリングセミナー
13	木		13	日	推薦入試・特別入試	13	火		13	月	
14	金		14	月		14	水		14	火	
15	土	AO入試	15	火		15	木		15	水	
16	日	第7回オープンキャンパス	16	水		16	金		16	木	
17	月		17	木		17	土	AO入試	17	金	第7回卒業式
18	火		18	金		18	日	第11回オープンキャンパス	18	土	AO入試
19	水		19	土	AO入試	19	月	年内授業終了	19	日	
20	木		20	日		20	火	集中講義	20	月	
21	金		21	月		21	水		21	火	祝日(春分の日)
22	土		22	火		22	木		22	水	成績発表(卒業学年対象) 卒業生発表
23	日	祝日(秋分の日)	23	水	祝日(勤労感謝の日)	23	金	祝日(天皇誕生日)	23	木	再試験願書締切
24	月		24	木		24	土		24	金	再試験日程発表
25	火		25	金		25	日		25	土	
26	水		26	土		26	月		26	木	一般入試(C方式)
27	木		27	日	第10回オープンキャンパス	27	火		27	水	再試験
28	金	敬老の日振替休日 淑徳祭準備日	28	月		28	水		28	木	
29	土	淑徳祭 第8回オープンキャンパス	29	火		29	木		29	金	
30	日	↓第9回オープンキャンパス	30	水		30	土		30	日	
31	月	祝日(秋分の日)振替休日	31	木		31	日		31	月	

2005(平成17年)度 学年暦 大学院 国際経営・文化研究科 [前学期]

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1 金		1 日		1 水		1 金		1 月		1 木	
2 土	第6回入学式	2 月	創立記念日振替休日	2 木		2 土		2 火		2 金	
3 日		3 火	祝日(憲法記念日)	3 金		3 日		3 水		3 土	
4 月		4 水	祝日(国民の休日)	4 土		4 月		4 木		4 日	
5 火	新入生・2年生健康診断	5 木	祝日(子どもの日)	5 日		5 火		5 金		5 月	
6 水		6 金		6 月		6 水		6 土		6 火	
7 木		7 土		7 火		7 木		7 日		7 水	修士論文提出(9月修了)
8 金		8 日		8 水		8 金		8 月		8 木	
9 土	オリエンテーション	9 月		9 木		9 土		9 火		9 金	
10 日		10 火		10 金		10 日		10 水		10 土	
11 月	前期授業開始	11 水		11 土	修論題目届締切(2年)	11 月		11 木		11 日	
12 火	懇談会(6眼のみ休講)	12 木		12 日		12 火		12 金		12 月	
13 水		13 金		13 月		13 水		13 土		13 火	
14 木		14 土		14 火		14 木		14 日		14 水	
15 金		15 日		15 水		15 金		15 月		15 木	
16 土		16 月		16 木		16 土		16 火		16 金	
17 日		17 火		17 金		17 日		17 水		17 土	修論中間発表会(休講)
18 月	履修登録締切日	18 水		18 土		18 月	祝日(海の日)	18 木		18 日	
19 火		19 木		19 日		19 火		19 金		19 月	祝日(敬老の日) 後期授業開始(平常授業)
20 水		20 金		20 月		20 水		20 土		20 火	
21 木		21 土		21 火		21 木		21 日		21 水	
22 金		22 日		22 水		22 金		22 月		22 木	
23 土	創立記念日(平常授業)	23 月		23 木		23 土		23 火		23 金	祝日(秋分の日)(平常授業)
24 日		24 火		24 金		24 日		24 水		24 土	
25 月		25 水		25 土		25 月	前期授業終了	25 木		25 日	
26 火		26 木		26 日		26 火	集中講義	26 金	成績発表(送付)	26 月	
27 水		27 金		27 月		27 水		27 土		27 火	
28 木		28 土		28 火		28 木		28 日		28 水	
29 金	祝日(みどりの日)	29 日		29 水		29 金		29 月		29 木	
30 土		30 月		30 木		30 土		30 火		30 金	
31 日		31 火		31 水		31 日		31 水		31 木	

2005(平成17年)度 学年暦 大学院 国際経営・文化研究科 [後学期]

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1 土	履修登録締切日	1 火		1 木		1 日	祝日(元旦)	1 水		1 水	
2 日		2 水		2 金		2 月		2 木		2 木	
3 月		3 木	祝日(文化の日)	3 土	大学院入試Ⅱ期	3 火		3 金		3 金	
4 火		4 金		4 日		4 水		4 土		4 土	大学院入試Ⅲ期
5 水		5 土	修論題目変更届提出(2年) 大学院入試Ⅰ期	5 月		5 木		5 日		5 日	
6 木		6 日		6 火		6 金		6 月		6 月	
7 金		7 月		7 水		7 土		7 火		7 火	
8 土		8 火		8 木		8 日		8 水		8 水	
9 日		9 水		9 金		9 月	祝日(成人の日)	9 木		9 木	
10 月	祝日(体育の日)	10 木		10 土		10 火	授業開始	10 金	修士論文最終試験(2年)	10 金	保存用修論提出(2年)
11 火		11 金		11 日		11 水		11 土	祝日(建国記念の日)	11 土	
12 水		12 土		12 月		12 木		12 日		12 日	
13 木		13 日		13 火		13 金		13 月		13 月	
14 金		14 月		14 水		14 土		14 火		14 火	
15 土		15 火		15 木		15 日		15 水		15 水	
16 日		16 水		16 金		16 月		16 木		16 木	第5回学位記授与式
17 月		17 木		17 土		17 火		17 金		17 金	
18 火		18 金		18 日		18 水		18 土		18 土	
19 水		19 土		19 月	年内授業終了	19 木		19 日		19 日	
20 木		20 日		20 火	集中講義	20 金	大学入試センター試験準備日(休講)	20 月		20 月	
21 金		21 月		21 水	集中講義	21 土	大学入試センター試験(休講)	21 火	修士課程修了判定会議	21 火	祝日(春分の日)
22 土		22 火		22 木	集中講義↓	22 日		22 水		22 水	
23 日		23 水	祝日(勤労感謝の日)	23 金	祝日(天皇誕生日)	23 月	後期授業終了(月~木) 修士論文提出(2年)	23 木		23 木	
24 月		24 木		24 土		24 火	補講	24 金		24 金	
25 火		25 金		25 日		25 水		25 土		25 土	
26 水		26 土		26 月		26 木		26 日		26 日	
27 木		27 日		27 火		27 金	後期授業終了	27 月		27 月	
28 金	敬老の日振替休日(休講)	28 月		28 水		28 土		28 火		28 火	
29 土	淑徳祭(休講)	29 火		29 木		29 日		/	/	29 水	
30 日	↓淑徳祭	30 水		30 金		30 月		/	/	30 木	
31 月	秋分の日振替休日(休講)	/		31 土		31 火	修論計画届締切(1年)	/	/	31 木	

2 教育事業

・「10 コース制」の導入

国際コミュニケーション学部は、学部改革の一環として、平成 17 年度入学生より、学科の枠を超えた 10 コースの教育課程を導入した。これらのコースの名称と人材育成目標ならびに教育課程の特徴は次の通りである。

スポーツ&ウェルネスコース； スポーツを通して自らの健康増進を図ると共に、競技者としても活躍できるスキルを身につけ、一人ひとりが健康で豊かな生活を送ることができる活力ある福祉社会の構築に貢献できる人材の育成。スポーツ・レクリエーション、医療、福祉、宗教、心理などを学際的に学習・研究し、ウェルネスの実現を自ら図る。

英語コミュニケーションコース； 国際語としての英語をコミュニケーションツールとして駆使しつつ、グローバルな分野・舞台で活躍できる人材を育成。英語のスキルを習得することはもちろん、異文化を深く理解し、英語コミュニケーターとして日本文化を発信できる実力を身につける。

教育実践コース； 児童期から老年期まで、年代ごと教育のあり方について学ぶとともに、社会教育の発展に必要な知識と学習方法を身につけ、地域教育や生涯教育の指導、地域社会や国際社会において教育の実践現場に関わっていく人材を育成。

環境コミュニケーションコース； 日常生活と環境問題との関係、各人の興味や関心が環境問題解決にどう結びつくのかについて学習し、問題解決に向けた手法や知識を幅広く身につけた人材の育成。

福祉環境コース； 高齢者や障害者、児童が安心して快適に暮らすことができる環境整備について学習・研究し、専門的な知識や技能を修めた人材の育成。

歴史文化コース； 人類の歴史や文化の体系的な理解を目指すとともに、ますます国際化が進む世界の流れに対応していくために必要な比較文化の視点を身につける。これらを通じて、世界史的視野を持った学校教育、社会教育等の教育の専門家及び国際社会で活躍できる人材の育成。

表現文化コース； 日本、アジア、欧米など世界の主要な地域における古典から現代までの言語芸術としての文学を中心に、書道・映画・美術・音楽などの優れた芸術の鑑賞を通じて、国際的な創造文化への理解力を養う。同時に、享受した文化的要素や美的価値を日本語・中国語・英語によって豊かに表現する技法の習得を目指す。

メディア表現コース； 電子メディアを中心に。文字メディアだけでなく幅広い表現力を実践的に身につけた人材を育成する。ウェブデザイン、映像メディアの作成の表現能力を養うとともに、広告やマーケティングの講義を通して、表現技能をビジネスに応用する方法を学習、社会に出て役立つ「美学」を学ぶ。

ライフケアビジネスコース； 高齢化社会が進展し、環境問題が重要視されるようになる中で、私たちの生活を支援し、生活の質を向上させる仕事が求められている。福祉の向上や環境改善の考え方を生かした商品開発やサービスの提供などについて実務的な力を身につ

ける。

経営コミュニケーションコース； 複雑化する経営環境に対し、経済及び経営の知識に基づき、コミュニケーションを通してさまざまな人々と協働できる人材の育成。国際的な経営戦略を視野に入れた企業管理のベースとなる、会計やマーケティングなどの業務管理のスペシャリストとしての能力を磨く。

・国際コミュニケーション学部カリキュラムの改訂(平成 17 年度施行)

本学部に入學する学生の学習ニーズを明確にしたコース制を採用することによる、学部全体の教育課程の見直しを行い、カリキュラムを改訂した。平成 17 年度以降入學生に適用する国際コミュニケーション学部カリキュラムは「(大学基礎データ等 別表 2)」を参照されたい。

・平成 16 年度「特色ある大学教育支援プログラム」申請事業

申請テーマ	主として学生の学習及び課外活動への支援の工夫改善に関するテーマ	
取組名称	地球共生人材教育のための実学学習支援体制	
担当	所属部局	国際コミュニケーション学部
	責任者	境 忠宏 (学長特別補佐)
	作成者	葛西 信雄 (学習支援室員)
取り組み概要	「学生に対する個別支援」のために、1) アドバイザー制度、2) 学習支援センター、3) GPA 制度、を三位一体として機能させること、そして、「学習環境づくり」として、1) チャット・ルーム、2) 異文化体験プログラム、3) インターンシップ・プログラムなどの充実を図っている。	
審査結果	不採択	
不採択理由	目標の到達度について総合的な評価方法が確立されていないこと、そして、このような取り組みにおいては教員のFDが不可欠であると考えられるが、その点が欠けていることの点から、必ずしも成果を挙げているとは認められない。	

・学習支援体制

国際コミュニケーション学部における学習支援体制は次のようになっている。学習支援センターは、学生の学習全般に関する相談、演習等担当のアドバイザーと連携した学生の学習支援、並びに GPA 制度の運営等を主たる業務としている。カウンセリングルームでは、快適な学生生活を送るために、学業、人間関係、性格や心身の悩み、アルバイトやサークル関連の問題、就職や進路、さらに恋愛、人間関係などについて、カウンセラーが対応している。GPA 制度による学習指導は平成 14 年度より行われている。GPA 制度では、成績評価に得点を付し、その GPA スコアにより次セメスターの履修上の上限単位を設定している。なお、入学時より卒業時までの累積 GPA が 3.5 以上の学生は卒業時に成績優秀

者として表彰する制度を設けている。1セメスター毎に、各学年の上位20名を表彰し、そのうちの上位10名には奨学金を給付している。前セメスターより顕著に成績が上昇した学生を表彰し、順位により奨学金を給付している。

・インターンシップ報告会の実施

国際コミュニケーション学部では1998年より全学部的にインターンシップを実施している。2005年度のインターンシップ実施状況は次のとおりである。国内インターンシップの受け入れ企業等が135社であり、履修学生数は461名である。また、海外インターンシップについては受け入れ企業が4社であり、5名の学生が履修している。

本学部のインターンシップにおいては毎回報告会を実施している。2005年度の報告会は、平成17年11月22日に行われ、出席企業・団体数は25社、38名である。報告会に出席した学生は160名、教員の参加者は38名である。

・資格の取得状況

資格取得支援講座合格者数

(人)

講座名	16年度	17年度	備考
1. 総合旅行業務取扱管理者講座	9	13	旧一般旅行業務取扱主任者
2. 国内旅行業務取扱管理者講座	17	16	旧国内旅行業務取扱主任者
3. 販売士2級講座	9	1	
4. 森林インストラクター講座	—	1	
5. グリーンセイバー(バイシック)講座	—	5	
6. カラーコーディネーター3級講座	16	11	
7. 福祉住環境コーディネーター3級講座	9	4	
8. ビオトープ管理士講座	2	—	

森林インストラクター； (社)全国森林レクリエーション協会の認定資格である。森林の案内や森林内での野外活動の指導を行うための知識や技能を証明する資格であり、本年度は8名受験し1名合格(合格率12.5%)している。全国平均の合格率は15.0%である。

グリーンセイバー検定制度； (特)樹木・環境ネットワーク協会の認定資格である。植物や自然環境、生態系に関する知識を検定する試験制度である。本年度は、13名受験し5名合格(38.5%)している。全国平均の合格率は60.0%である。

ビオトープ管理士； (財)日本生態系協会の認定資格であり、ビオトープ事業に携わる技術者の育成と質の向上を図ることにより、地域の生態系を守り、取り戻すビオトープ事業の効果的な推進を図ることを目的としている。本学部では2級ビオトープ施工管理士の合格を目標にしている。

・卒業生等の進路状況

1. 国際コミュニケーション学部

卒業生 464 名のうち就職希望者は 329 名。就職内定者は 296 名。卒業生総数に対する就職内定率は 63.8%。就職希望者数に対する就職内定率は 90.0%。「就職希望しない」のうち、大学院進学 11 名。その他の進学 44 名。「就職の意思なし・不明」80 名。

国際コミュニケーション学部卒業生の進路状況 平成 17 年度(18 年 3 月卒業)

項目/専攻	経営環境学科		文化コミュニケーション学科		学部計		
		増減		増減		増減	
①卒業生	196	△20	268	△48	464	△68	
②就職希望者	142	△17	187	△28	329	△45	
就職希望比率②/①%	72.4%	△1.2%	69.8%	1.8%	70.9%	0.6%	
内 訳	③就職内定者	129	△17	167	△28	296	△45
	(③/①) %	65.8%	△1.8%	62.3%	0.6%	63.8%	△0.3%
	(③/②) %	90.8%	△1.0%	89.3%	△1.4%	90.0%	△1.2%
	④就職活動継続者	13	0	20	0	33	0
⑤就職を希望しない	21	0	34	8	55	8	
内 訳	大学院進学	6	1	5	1	11	2
	その他の進学	15	△1	29	7	44	6
⑥就職の意思無・⑦不明	33	△3	47	△28	80	△31	

2. 大学院 国際経営・文化研究科

修了生 17 名のうち就職希望者 11 名。就職内定者は 9 名。修了者総数に対する就職内定率は 52.9%。就職希望者に対する就職内定率は 81.8%。「就職希望しない」のうち、大学院進学 2 名。「就職の意思なし・不明」4 名。

3. 教員・公務員試験合格者数

(人)

	15 年度	16 年度	17 年度	備考
1 教員採用試験	2 (0)	1 (1)	2 (2)	臨時採用含む・()既卒
2 公務員試験	1	2	4	

4. 2006 年 3 月卒業生の就職先

公務員等

警視庁、自衛隊

企業分野

■建設・不動産・製造・電力・運輸

(株)クリエティブホールディングス、住友林業(株)、総合パーキング建設(株)、ミヨシ油脂(株)、(株)ヘルシーフード木村綿業(株)、東京コンテナ工業(株)、森紙業(株)、(株)青春出版社、紅屋オフセット(株)、(株)タイガーコーポレーション、ハート(株)、牧製本印刷(株)、日医工(株)、日本板硝子関東販売(株)、日栄インテック(株)、朝日ソーラー(株)、NECアクセステクニカ(株)、(株)加藤製作所、九州日本電気(株)、サン電子(株)、(株)日本トリム、ミツミ電機(株)、理研計器(株)、(株)北関東工業、酒井医療(株)、(株)コナミ、東京インキ(株)、(株)トーセ、セントラル石油瓦斯(株)、河北トラック(株)、澁澤倉庫(株)、(株)光通信、丸全昭和運輸(株)、(株)マルハ物流ネット、(株)ライフサポートエガワ、(株)アクティリンク、(株)アップル、(株)ABCホーム、(株)エイブル、(株)グーディッシュ、京松グループ東和住建、(株)コスモリクエスト、スカイコート(株)、(株)ダイナシティ、(株)東京ユニカ、(株)ドリームキャッスル、西山興業(株)、(株)ハウジングトラストギャランティ、パナホーム(株)、(株)三井リハウス東京、ポラス(株)、(株)レオパレス21、(株)ヌーベルバーグ

■金融・保険

埼玉縣信用金庫、東京ベイ信用金庫、(株)東和銀行、(株)りそな銀行、みずほインベスターズ証券(株)、クレボ(株)、明治安田生命保険(相)、アイフル(株)、(株)オーエムシーカード、(株)SFCG、三和ファイナンス(株)、(株)ニッシン、(株)クレディセゾン、(株)ゼウス、米常商事(株)

■卸・小売

(株)ベルパーク、京浜測器(株)、スミス・アンド・ネフュー ウンドマネジメント(株)、ホシザキ北関東(株)、ヤマト電機(株)、牛山電工(株)、多摩東芝情報機(株)、フジサキテキスタイル(株)、伊藤忠石油販売(株)、岡谷マート(株)、(株)カクヤス、(株)グロースコーポレーション、(株)合食、長野県連合青果(株)、東京フレッシュ(株)、(株)ベルコム、イオン(株)、(株)オオゼキ、(株)カインズ、(株)カワチ薬品、(株)キャンドウ、(株)九九プラス、サミット(株)、(株)ベルク、(株)マルヤ、(株)ベイシア、ヨークマート(株)、(株)青山商事、(株)アドバンスステージ、(株)エービーシー・マート、(株)コックス、(株)たけうちグループ、(株)デリカ、(株)モード・エ・ジャコモ、(株)パル、(株)やまと、(株)ロン・都、(株)ワールドストアパートナーズ、(株)ビックカメラ、(株)オートウェーブ、東京トヨペット(株)、トヨタカラー新埼玉、中村オートパーツ(株)、(株)日産サテリオ埼玉、日産プリンス西東京販売(株)、ネッツトヨタウエスト埼玉(株)、(株)ホンダクリオプロモーション、(株)オーイズミフーズ、オリジン東秀(株)、カップクリエイト(株)、(株)叶匠寿庵、(株)ケーズネットワーク、(株)関門海、(株)くらコーポレーション、(株)サンライズサービス、(株)すかいらく、(株)ニュートキーヨー、チムニー(株)、(株)ナガエフーズ、(株)松屋フーズ、ブックオフコーポレーション、(株)アイジャパン(株)、(株)アイトピア、(株)アッシュ・ド・アッシュインターナショナル、(株)ヴァンドームヤマダ、(株)シブヤ薬局、(株)三貴、(株)たけうちグループ、(株)W. I システム、(株)ビジョンメガネ、(株)ベスト販売、(株)メガネスーパー、プリモ・ジャパン(株)、(株)ブルーム、(株)ベルーナ、有賀園ゴルフ(株)、(株)イドムココミニケーションズ、(株)かねたや家具店、河淳(株)、群馬ヤクルト販売(株)、(株)セリア、(株)ときわスポーツ

■マスコミ・サービス・その他

(株)佼成出版社、(株)ケイエス企画、熊谷眼科、戸田中央総合病院グループ、草加明生苑、日本シルバーサービス(株)、(福)芳洋会ひのでホーム、(株)ライフコミュニケーション、老人保健施設「すみよし」、KTC外語学院(株)、(株)コヤマドライビングスクール、埼玉医科大学、(学)佐藤栄学園、(株)武蔵境自動車教習所、関東第一高等学校、さいたま農業協同組合、JAあおば、JAちちぶ、JAさいたま、ヒビキノ農業協同組合、(財)東京都港

湾福利厚生協会、(株)エイチ・アイ・エス、(株)JTBトラベランド、旅行綜研(株)、(株)クロノス・インターナショナル、(株)太平観光、東急観光(株)、日新航空サービス(株)、(株)三経ホテル、(株)プリンスホテル、ルートインジャパン(株)、ピーアーク(株)、(株)遊楽、(株)オープンループ、(株)ゲイン、(株)コミュニケーションデザイン、システムプロダクト(株)、(株)システムコミュニケーション、ダイワボウ情報システム(株)、(株)データ総研、東洋ユースウェアサービス(株)、トランスコスモス(株)、日本ソフアック(株)、(株)ネクサス、(株)ベルシステム24、(株)ユニシステム、ニッポンレンタカーアーバンネット(株)東京ディビジョン、(株)卓球ファンネット、(株)アルトナー、青空グループ、石坂産業(株)、ABGグループ、HLS(株)、(株)エフエスユニマネジメント、共栄セキュリティーサービス(株)、グリーンハウス(株)、(有)サントノーレ、総合警備保障(株)、スポーツプレックスジャパン(株)、(株)セノン、東京リビングサービス(株)、ニッセン(株)、ハーベスト(株)、東日本小型自動車競走会、(株)ホンダコムテック、毎日興業(株)、(株)メモワール、(株)読売情報開発、(株)ライフコミュニケーション、リロコーポレーション、ルアン(株)、ワールドエンタプライズ(株)、(株)ウエスト、つきじ、(株)サンエス、(株)セガ、(株)フィットハウス、ファイティングカンパニー、日通プロパン、(株)ロイズ・アンティークス

3 研究活動

・科学研究費補助金等の受給状況

1. 平成17年度日本学術振興会科学研究費補助金

国際コミュニケーション学部

(単位千円)

研究種目	研究者	区分	課題内容	17年度	18年度
1. 基礎研究C	吉良 直	継続	アメリカの大学教育の改善とティーチング・アシスタント制度の研究	1,100	500
2. 基盤研究C	山口 光治	新規	高齢者虐待防止のための予防プログラムの開発	1,700	1,600
3. 若手B	阿部 勘一	継続	コミュニケーション論的アプローチによる消費者行動とマーケティングに関する研究	800	600
4. 若手B	藤森 雄介	継続	現代における仏教系社会福祉事業の実践状況と今後の方向性に関する研究	1,600	—

・教員の学術部門での表彰等 (平成15～17年度)

年度	氏名等	受賞名
平成15年度	若林 明子 教授	日本水環境学会学術賞
平成16年度	北野 大 教授	日本分析化学会技術功績賞
	上田 廣 教授	総務大臣表彰 情報化促進貢献個人表彰
平成17年度	渡部 治 教授	基督教学会賞

・学内で開催された学会等

みずほ台キャンパス

- 平成 15 年度 1. 日本経営会計学会 第 4 回全国大会
2. 淑徳大学国際コミュニケーション学会 第 5 回学術大会
- 平成 16 年度 1. 日本広報学会 第 10 回発表大会 平成 17 年 10 月 27 日～28 日（池袋サテライト・キャンパス）
2. 淑徳大学国際コミュニケーション学会 第 6 回学術大会
- 平成 17 年度 1. 日本広報学会 平成 18 年 1 月 28 日（池袋サテライト・キャンパス）
2. 淑徳大学国際コミュニケーション学会 第 7 回学術大会

4 社会貢献活動

・ 国際コミュニケーション学部

1. 公開講座等

本学部では「淑徳大学コミュニティ・カレッジ」として、三芳町と協賛し、毎年 2 つの講座を地域住民向けに開設しており、平成 17 年度では「文学者とその作品」全 4 回の講座に計 303 名の市民が参加し、「いま地球環境問題は」全 5 回の講座に計 170 名の市民が参加している。また、IT 講習会を毎年度開設しており、平成 17 年度では「パソコン入門・活用セミナー」計 4 回の講座に計 151 名の市民が参加した。

さらに、隣町の文京学院大学と共催の公開講座も平成 14 年度より開始し、平成 17 年度は「地域でともに生きるためにーいざというとき求められる住民力ー」をテーマとした、全 2 回の講座に計 93 名の市民が参加している（『大学基礎データ』表 10）。

本学部の独自の施設である「書学文化センター」も、地域住民にも開放した展示会を毎年開催している。

教育研究上の成果の市民への還元については、従来は三芳町や富士見市など周辺の地方自治体が主催する講座や委員会などへの教員個人への派遣にとどまっていたが、昨年度より富士見市と共同で人材育成（富士見市側でのインターンシップ生の受け入れと本学部での行政人材育成）や地域の国際化、さらに地域の起業家のための協力機構の立ち上げについての協議を開始した。

2. その他

地域社会との文化交流については、周辺地域住民にみずほ台図書館を開放するとともに、毎年度「町立三芳東中学校」からの図書館業務実習生を受け入れている。

体育館やグラウンド等の施設の開放については、地域住民の要望に応じて、学生の諸活動に支障のない範囲で積極的に開放するとともに、理事長杯卓球大会やバーンゴルフ大会を周辺地域との共催で開催し、多数の参加者を見ている。

5 学生の活動

・全国大学生環境活動コンテスト敢闘賞受賞

本賞は文部科学省、環境省後援のコンテストであり、慶應義塾大学「慶應スローフード」や兵庫県立大学「環境を考える会ゆりのき」などとともに、国際コミュニケーション学部の清水ゼミが全国大学生環境活動コンテストで敢闘賞を受賞した。

・課外活動の成績（全日本学生レベル以上のもの）

1. 〔団体〕

全日本大会等

1. グリークラブ：第48回埼玉県合唱コンクール(埼玉県合唱連盟主催) 銅賞
2. アーチェリー部：全国障害者スポーツ大会(厚生労働省他主催) 女子 50m・30m 部門
金メダル
3. 女子柔道部：
 - ・岡山国民体育大会(岡山県主催) 優勝(埼玉県代表)
 - ・全日本学生柔道優勝大会 3位

全日本学生大会等

1. S. S. C：ジュエルテックカップ2005(全日本大学サッカー連盟主催) 優勝
2. 硬式野球部：春季リーグ(東京新大学野球連盟主催) 優勝・入替戦勝利2部に昇格
3. 女子柔道部：
 - ・関東学生女子柔道優勝大会(全日本学生柔道連盟主催) 3位
 - ・全日本学生柔道優勝大会(全日本学生柔道連盟主催) 女子の部 3位
4. 女子ソフトボール部：
 - ・第36回関東大学女子ソフトボール選手権大会(関東大学ソフトボール連盟・関東ソフトボール協会主催) 準優勝
5. 卓球部：
 - ・関東学生春季卓球リーグ戦(関東学生卓球連盟主催) 優勝(秋季リーグ戦5連覇)
 - ・第75回全日本大学対抗卓球選手権大会(日本学生卓球連盟主催) 準優勝(史上初の6連覇ならず。)
6. バドミントン部：春季リーグ戦(関東学生バドミントン連盟主催) 2部優勝、入替戦の結果、1部に昇格

2. 〔個人〕

世界大会等

1. 女子柔道部：
 - ・アジア選手権大会<ウズベキスタン共和国・タシケント> 78kg級優勝 中澤 さえ
 - ・世界柔道選手権大会<エジプト・カイロ>(国際柔道連盟主催) 78kg級 2位 中澤 さえ
 - ・第5回青島国際柔道大会<中華人民共和国・青島> 52kg級優勝 西田 優香 ・70kg級 2位 國原 頼子

- ・福岡国際女子柔道選手権大会(全日本柔道連盟他主催) 52kg 級優勝 西田 優香・78 kg級 2 位 中澤 さえ
- ・ハンガリー国際柔道大会<ハンガリー共和国・ブタペスト> 52kg 級 3 位 西田 優香・78 kg級優勝 中澤さえ
- ・フランス国際柔道大会<フランス・パリ> 78 kg級 3 位 中澤 さえ
- ・ドイツ国際柔道大会<ドイツ・ハンブルグ> 52kg 級優勝 西田 優香
- ・ポーランド国際柔道大会<ポーランド・ワルシャワ> 70 kg級 3 位 國原 頼子

全日本大会等

1.女子柔道部 :

- ・全日本女子柔道選抜体重別選手権大会 (全日本柔道連盟主催) 78 kg級優勝 中澤 さえ、世界選手権出場権を得る。
- ・皇后盃全日本女子柔道選手権大会 (全日本柔道連盟主催) 78 kg級 3 位 中澤 さえ
- ・関東女子ジュニア柔道体重別選手権大会兼全日本関東地区予選 (関東柔道連合会主催) 63 kg級準決勝敗退 大川 なを
- ・関東女子柔道選手権大会(関東柔道連盟主催) 78 kg級優勝 中澤 さえ

全日本学生大会等

1.女子柔道部 :

- ・関東学生女子柔道体重別選手権大会 (全日本学生柔道連盟主催) 52 kg級優勝 西田 優香・63 kg級優勝 小林 久子・52 kg級 2 位 古杉 友美・70 kg級 2 位 國原 頼子
以上 4 名は全日本学生女子柔道体重別選手権大会に出場
- ・全日本学生柔道体重別選手権大会(全日本学生柔道連盟・朝日新聞社) 52kg 級優勝 西田 優香・48kg 級 3 位 小林 久子・70 kg級 3 位 國原 頼子
- ・講道館杯全日本柔道体重別選手権大会 (全日本柔道連盟、(財) 講道館) 70 kg級 2 位 國原 頼子・78 kg級 3 位 中澤 さえ

- 2.軟式野球部 : 首都大学軟式野球連盟秋季リーグ(首都大学軟式野球連盟主催) 首位打者 長谷川 晃

6 その他

・施設設備の整備事業

平成 17 年度の施設・設備の整備事業は、学生の利便性を考慮し、総合キャリアセンターに隣接した学生実習室を総合キャリアセンターに統合し、就職先企業情報や海外研修、海外留学等の資料閲覧室を拡張した。また、3号館(情報棟)に設置する約 250 台のパソコンのリニューアル及びPCを活用し、専門性を深める為の映像編集等の作業ができるハイスペックのPCを設置した特別室を増設した。